## に心を打たれた。 命の誕生に携われることが心か らうれしい」と話す森本藍さん 自然妊娠では子を授から

## 感が募った。 したかった仕事かな」と違和 る。

**顕微鏡を前に手が震えそうに** 

求められる」

て倫理観が

技術、そし

佐藤さんは臨床検査技師。

聖隷浜松病院に

の業務と並行して不妊治療に勤務していた時に、検査技師

られている。 は養士がいたので、職業名は とんだ。学生時代の友人に胚 を胚培養士の文字が目に飛び

そんな時、

求人情報にあっ

知っていた。どんな仕事だろ

調べるうちに興味がわ

二14日午後、静岡市駿河区

と腕を上げて、一人でも多くかは私もと思う。でも、もっけん一倍認識している。「いつ ると自らも適齢期。不妊治療りがいだが、出産年齢を考え の患者さんの役に立ちたい に携わり、卵子の老化の現実 自分が関わった患者が妊娠

う。定年退職後は、浜松市運びながら技術を学んだと

の学会や大学病院などに足を

関わるようになった。

出向くと、技術を駆使して命の多い同クリニックに見学に話した。県内でもスタッフ数ぎ、不妊治療専門の病院に電

の誕生に関わる胚培養士の姿

生殖補助医療は、命を操作日、若手の指導に当たる。区の専門クリニックで週2 の医師に相談すると「人のたという。信仰を共にする知人 「神の領域に携わってもいいチャンでもある佐藤さんは のだろうか」と真剣に悩んだ する仕事とも言える。 い」と背中を押された。 めになる技術は生かしなさ クリス

性編集室

ると、心が熱くなる。体外受きたが、今も受精卵を前にすどの卵子や精子と向き合って 精や顕微授精を行った翌朝、ると、心が熱くなる。体外受きたが、今も受精卵を前にす 受精を確認するといつも心で 培養士の役目だ。佐藤さんは 真っ先に受精確認するのが胚 これまで、数え切れないほ

胚培養士と不妊治療 2

## 国立大の農学部。牛の行動学関心はあったが、進んだのは職した。幼いころから医療に र्ड 一細胞

高い倫理観と確かな技量が求

められている。

かつては「

不妊治療に臨むカップルは増

命の誕生を操作

人を超えた。晩婚化を背景に

20

年に全国で3万

する新生児は増加傾向にあ

生殖補助医療によって誕生

た分野に挑む胚培養士には、かつては「神の領域」とされ

はなかった。 者夫婦の思いが込められてい るようになった。わずか〇・ 1 デの卵子と、さらに小さい しい顕微授精に昨年から携わ生殖補助医療の中で最も難 同じ細胞は二つとない と苦しい治療に耐える患 「赤ちゃんが欲し

3年前、食品メー

カー

から転

を研究して大学院まで進んだ

就職先では「これが私の

リニックの森本藍さん(29)は

静岡市駿河区の俵IVFク

士)だ」。胚培養士の自主組エンブリオロジスト(胚培養もしれない分野に携わるのがける。不可能が可能になるか 療によって赤ちゃんを腕に抱なかった夫婦が、生殖補助医 文さん(65)= スト学会」事務局長の佐藤和 織「日本臨床エンブリオロジ 話す。 「責=浜松市―はこう

<メモ>不妊治療のうち、排卵日を予測するタイミング法や、採取した精子を子宮に注入する人工授精は一般不妊治療 と呼ばれる。何らかの原因でこれらの治療で妊娠できなかった患者が、体外受精や顕微授精といった生殖補助医療に進む。しかし、高度な治療が必ずしも妊娠・出産につながるわけではない。2009年の日本産婦人科学会(日産婦)のまとめによると、生殖補助医療で出産に至る確率は年齢とともに低下し、1回の治療当たり35歳で17%、40歳だと8%とされる。

(万人)┌150 国内の新生児数の推移生殖補助医療で出生した 140 出生数 130 40,000-120 110 30,000 100 生殖補助医療による出生数 20,000 10,000 10 12 05 95 1985年 90 2000 (日産婦調査、出生数は厚労省「人口動態統計」より)

Women's CHOICE

静岡新聞